

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 152

事務事業名	夜間初期診療事業
-------	----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	国保けんこう課		
課長名	松永 龍二	内線	115
担当者名	山田 操	内線	152

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020103	健康づくりの推進と医療体制の充実
施策		医療体制の充実
関連施策		

会計	一般会計	
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	6	診療費
事業コード	030000	夜間初期診療事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	夜間に診察が必要な急病者		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図	夜間初期診療センターの設置により、診療時間終了後(19時から22時まで)の時間帯における急病者に対応する。		
対象をどのような状態にしたいか			
事業概要	こどもセンター内に夜間初期診療センターを開設し、大村市医師会、長崎医療センター、市立大村市民病院から派遣された医師2名が毎日交代で診療にあたる。		
意図を達成するために実施することは何か			
事業期間	平成 19 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営、委託
根拠法令、要綱等	大村市こども夜間初期診療センター条例、大村市夜間初期診療センター条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 受診者数	計画値	3,500	4,000	4,500	4,500	
		実績値	3,793	4,222	4,127		
		達成度	%	108.4%	105.6%	91.7%	
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	① 市内初期診療受診者に対するセンター受診者の割合(%)	計画値	80.0	80.0	80.0	90.0	
		実績値	61.3	78.8	88.3		
	センター受診者数/市内の夜間初期診療全受診者数	計画値					
		実績値					
	②	計画値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	62,787	63,262	62,166	61,499	61,599	61,599	61,599	0
国庫支出金								
県支出金	1,592							
地方債								
その他	22,496	27,475	25,653	24,649	24,851	24,851	24,851	
一般財源	38,699	35,787	36,513	36,850	36,748	36,748	36,748	
② 人件費(千円)	3,273	3,998	3,541	3,944	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.40	0.52	0.50	0.53	夜間初期診療センター業務	夜間初期診療センター業務	夜間初期診療センター業務	
時間外勤務(時間)	47	34	7	45				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	66,060	67,260	65,707	65,443				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	「広報おおむら」に、夜間初期診療センター診療のお知らせを毎月掲載するほか、チラシ、ホームページ等により周知を図っている。また、大村市医師会の協力のもと、「夜間初期診療センターを受診しよう」のポスターを市内医療機関に掲示している。
事業が抱える問題・課題等	2次・3次医療を担う長崎医療センターでは、重症者に対応するため限られたスタッフで救急医療体制を保っている。軽度の病状であれば、夜間初期診療センターを利用していただくよう周知していく必要がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	重篤な患者に対応する2次・3次医療機関の負担を軽減し、救急医療体制を確保するため、小児及び内科の初期診療を行う本事業は必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	当センターは、夜間の初期診断及び的確な医療機関との連携を図るためには、市が主体的に進める必要のある事業である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市内における夜間初期診療受診者のうち8割強が夜間初期診療センターを受診しており、事業成果は高い。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市民に安全・安心な医療を提供するために、初期・2次・3次救急医療機関の役割分担を明確にし、それぞれの役割に応じた救急医療体制支援の効果がある。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	医師の確保については、大村市医師会与委託契約を結び、診療にあたっている。施設管理はこどもセンターと一括して管理するなどの効率的な事業の実施に努めている。また、医薬材料費等については実績に応じ適正に調達するなど、支出の削減に努めている。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	診療報酬に基づき適正な医療費を徴収している。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	チラシ、ホームページ等による市民への周知を引き続き行っていく。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。